

かしわば

第6号

2005.4

地域住民の安心を担う
脳神経外科病院としてのニーズに
こたえ続けるために

当院は新たにスタートしました

かしわばゼミナール

「物忘れ」には心配ないものと心配
なものがあります

食べて健康
さくらんぼ

おしらせ
個人情報保護法について



開院記念日である4月19日(火)に
第5期工事の完成を記念して撮影



2005年4月

医療のレベルアップと患者さんの療養環境ならびに職員の職場環境のアメニティの充実を目指した第5期工事が完成しました

地域医療へ努力し
続けた歴史を基盤
に新スタート

昭和46年4月19日。柏葉脳神経外科病院が、月寒東に開院しました。脳神経外科医・柏葉武（柏葉脳神経外科病院・現理事長）が「新しい地域医療に努力専心したい」とスタートさせた地域医療への挑戦でした。

開院時、19床・職員数10人の診療所は、時代とともに変化する医療ニーズに応えながら施設の増改築を重ねました。新しい施設は144床。職員数293人が地域医療に取り組んでいます。



国道36号から直接入ることができる救急車専用通路



2台の大型プラズマテレビを設置したA館1階待合ロビー



最先端の医療機器が揃う手術室

地域住民の安心を担う 脳神経外科病院としてのニーズに こたえ続けるために 当院は新たに スタートしました

私たちの考えていること

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- ・患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- ・医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- ・患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- ・医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- ・救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- ・地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- ・患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- ・自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- ・自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- ・治療について承諾・拒否する権利があります
- ・自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- ・自分のプライバシーを守る権利があります
- ・公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- ・病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

家庭と地域を視野 に入れた患者さん 中心の医療を

高齢社会となった現在、医療に対するニーズは多様化しています。脳卒中などの生活習慣病の慢性疾患が増加し、疾患治療中心の医療から、健康管理、疾病予防、リハビリテーション、緩和ケアなどに至る包括的な医療が求められるようになりました。

患者さんのアメニティにも対応した、当院のA館急・亜急性期病棟、B館回復期リハビリテーション病棟では、患者さん一人一人の病状に合わせた最善の治療を行うために、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士などがチームを組んで診療にあたっています。

また、地域中核専門病院として近隣医療機関と連携するために、2003年12月から『地域医療連携室』も稼動しています。



OT作業療法室



PT理学療法室

投書箱 「みなさまの声」から

●A館2階のラウンジ、212号室の4人部屋の広さ、食事等、長期の入院でも苦にならない内容で賞賛に価します。また、看護師さん、助手さんの対応もフレンドリーで行き届き、たいしたものです。

●綺麗な病室で多くのスタッフの方々にお世話になり厚くお礼申し上げます。

●広くて明るいデイルームでの食事に感謝します。



院内各所に設置された投書箱



広く開放的なデイルーム



明るく使いやすい洗面所

24時間体制の救急 医療で地域貢献を

当院は長年、救急医療活動を積極的に行ってきました。2004年11月には、国道36号線から直接当院の救急処置室に乗り入れることができ、一刻を争う脳障害や頭部外傷に対し、より迅速な対処が可能です。

当院では、救急医療に長年携わってきた医療スタッフたちの叡智を集め、最善の救命救急医療を提供できる、理想的な環境を実現します。

ハイレベルな専門医療と救急医療を実践する医療機関として 地域医療に貢献し、最善の医療サービスを提供します

お問い合わせは 代表電話 011-851-2333
診療・脳ドックの予約は 予約専用番号 011-859-5636
ご心配・お困りごとは 医療相談室 011-852-2260
病診連携に関することは 地域医療連携室 011-851-2370

A館 急・亜急性期棟

4F 手術室・中央材料室
3F 急性期病棟
2F 亜急性期病棟
1F 外来診療・放射線科施設
BF 栄養科施設

B館 リハビリテーション棟

5F 管理部門
4F 管理部門
3F 神経生理検査・薬剤科・高気圧酸素治療施設
2F 回復期リハビリテーション病棟
1F リハビリテーション施設

かしわば ゼミナール 第6回

「物忘れ」には心配ないものと 心配なものがあります

晩ご飯を食べたこと自体を忘れるような場合は……

**心配がない
「高齢による物忘れ」**

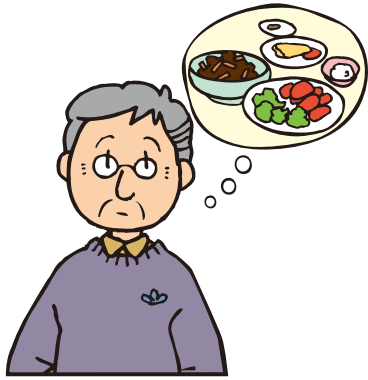
「最近、物忘れが多くなってきた」と心配されている方が、身の回りにいませんか？ テレビで見た芸能人の名前がなかなか思い出せなかったり、昨日食べた晩ご飯のメニューがどうしても思い出せなかったりすることが続くと、「何かの病気ではないかしら」と思ってしまうものです。

**病気が原因の
「物忘れ」もあります**

心配なのは、『晩ご飯を食べたこと自体』を忘れてしまうような場合です。また、自分の子供を他人だと思ってしまうたり、子供の名前が分からなくなってしまうような場合も同様です。

人間の記憶力は、年齢とともに低下していきます。特に新しい出来事は覚えにくく、すぐ忘れてしまうことが多くなります。『昨日の晩ご飯のメニュー』は、これに当てはまりません。

「物忘れ」が現れる病気には、アルツハイマー病や、脳梗塞や脳出血による血管性痴呆などがあります。この場合、適切な治療を行うことで、若干の改善や進行の一時的な抑制をすることができます。また、慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症などのように、手術で治すことが可能なものもあります。



どちらの場合も、
早めの診断が重要です。
もしも家族の物忘れが気になるような場合は、すぐに受診させましょう。



主成分はブドウ糖などの糖質です。カリウム、鉄、リンなどのミネラルや、カロテン、ビタミンB₁・B₂・Cなどが少しずつ含まれています。

美肌効果

ミネラルやビタミンは多くありませんが、バランスよく含まれます。比較的カロテンが多く、皮膚や粘膜を健康に保つ作用が期待できます。

利尿効果や高血圧予防に

果実としてはカリウムを比較的多く含みます。カリウムは、食塩などの摂取で増えすぎた体内のナトリウムを排出する働きがあるので、利尿効果や高血圧の予防も期待できます。

記録的な大雪も姿を消し、やっと春らしい暖かい日差しが感じられるようになりました。

2年7カ月の長期におよんだ増改築工事でも無事完成を迎えることができました。

これも日頃から私達を支えてくだ

編集後記

さる地域の皆様方のお陰と職員一同感謝いたしております。ありがとうございました。

今後ますます、患者さんに安全で安心いただける医療のサービスの更なる充実に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。
(小川)

NEWS おしらせ

個人情報保護法に
ついて

当院は、患者さんへの説明と納得にもとづく診療（インフォームド・コンセント）および個人情報保護の重要性を深く認識し、個人情報の適格な取り扱いを行っていくため全ての病院スタッフが個人情報の保護に努めてまいります。

ご質問やご相談は、各部所責任者または左記の個人情報保護相談窓口をご利用ください。

個人情報保護相談窓口
医事課受付（A館1階）
電話 011-8511-2333
(代表)